ホームページ公開用

第二回　美波町総合計画審議会議事録（概要版）

日時：平成２０年１月１０日（木）１４：００～１６：００
場所：美波町役場２階　会議室

参加者：会　長　澤田　俊明（有識者・工学博士、元徳島大学非常勤講師）
副会長　猪龍　俊明（美波町町内会連合会）
委　員　川西　伸枝（美波町婦人会）
委　員　小山　　保（美波町老人クラブ連合会）
委　員　徳永　　聰（美波町観光協会）
委　員　和佐　善夫（美波町商工会）
委　員　本田　伍平（美波町商工会）
委　員　吉野　清（海部上灘漁業振興会）
委　員　瀧本　達也（ＪＡかいふ日和佐支所）
委　員　張西　政晴（美波町体育協会）
委　員　谷口　右也（徳島県南部総合県民局市町村支援担当）
委　員　新矢　公宏（美波町議会）
委　員　江本　　昇（美波町議会　総務産業建設常任委員会）
美波町　藤井町長、中東副町長
別宮収入役、谷崎教育長、濵由岐支所長
山路税務保険課長、田川住民福祉課長、栗林産業振興課課長
鈴木建設課長、寺内消防防災課長、今津水道課長、
山田会計課長、木里議会事務局長、
（事務局）美波町総務企画課　影治課長、礒野課長補佐、前野係長
㈱ｴｲﾄｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ　松澤、瀬部
欠席者：委員　四宮　治義（美波町町内会連合会）
委員　口船　敏昭（美波町ＰＴＡ連合会）

１．開　会（事務局）
・当審議会は公開とする。
・当審議会の開催を１１月に予定していたが、種々の検討に時間を要し、今日になったことをおことわりいたしておきます。

２．町長あいさつ
・前回の審議会では、本町の将来を見定め、何を「まちづくり」の理念にするかについて、アンケートの実施結果等をふまえ、委員の皆さんにご議論をいただきました。

・昨年は、わが国において経済、社会、組織を動かすシステムが改正される等、目まぐるしい変化のあった年でした。こうした時期にわが町は１０，０００人を割る合併をしました。しかし、わが国の地方分権は、財源の伴わない地方分権であり、町の財政は厳しい状況です。
・総合計画では、わが町の人口を１０年先（平成２９年）においても８，０００人を割らないようにと定めています。今、こうした気概を持って行政を進めなければ、また、少子高齢化４０％、限界集落の発生等の課題が山積していますが、この人口を守っていかなければ「安全、安心した町づくり」ができない状況です。
・総合計画へ期待することを、２，３あげさせていただきますと、
＊「総合計画」に位置づけられたものは実施していく。
＊「交流・定住」については「官」のみならず、「民」の地域力、ネット力、資金力を活かしたい。
＊「企業誘致」については労働者の定住が必要である。第１次産業やサービス業等の労働資源を活かすことが重要である。
です。ご検討いただきたいと考えます。
・本町には、１０年先に８，０００人の人口がいて、元気のある町であって欲しいと考えます。当審議会で充分なご議論を賜りたいと思います。

３．会長挨拶
・人口減少が続く中で、１０年先（平成２９年）に、８，０００人の人口を確保するとの考えに正直驚きました。本町の熱意の賜と考えます。町民皆様の知恵の結集が大切と考えます。
・時代は変化しています。当審議会では、忌憚のないご意見をいただきたいと考えます。

４．第１回美波町総合計画審議会議事録について
・事務局より、第１回美波町総合計画審議会議事録美波町がホームページにて公表済みであることが説明され、委員の了承を得た。

５．審議事項
（１）総合計画策定実施フローについて
・事務局より、総合計画策定実施フローについての説明があり、委員より了承を得た。

（２）総合計画（案）について
・審議は、
① 基本構想について
② 施策大綱の「１．生活基盤の整備」、「２．生活環境の整備」について

③ 施策大綱の「３．産業の振興」、「４．教育・文化の振興」について
④ 施策大綱の「５．保健・医療・福祉の充実」、「６．地域自治・行財政運営」について
⑤ 総括
の順で行うこととした。

① 基本構想について

・事務局より、総合計画（案）と総合計画・概要版（案）の中の基本構想及び重点プロジェクトの説明をした。

（会長）

・重点プロジェクトについて意見をいただきたい。

（委員）

・アンケートや満足度からも伺えるが、地域の活力、産業づくり、町の力強さを出すために、重点プロジェクトに「雇用」に関する項として、「産業の活性化」「産業づくり」を採り上げてはどうかと考える。

（委員）

・基本構想の「主要な課題」の「１．人口減少、少子・高齢化対策」「２．若者の定住化促進」「３．産業振興と就業機会の確保」についての対策が、５つの重点プロジェクトに入るべきであるが入っていない。検討してほしい

（委員）

・重点プロジェクトに「漁業」の振興について入れて欲しい。

（委員）

・国等が出している自治体への支援策に対して、町はどの様に取り組んでいるのか、教えてほしい。

（町長）

・国の各省庁とも格差是正をテーマに、地域振興策を打ち出している。あらゆるものに取り組むのでなく、地域のニーズに合ったものに主眼をおいて適切に対処している。詳細は、基本計画の下の計画である実施計画で検討する。

（会長）

・８，０００人の人口を維持するためには「Ｕ　Ｊ　Ｉ　ターン」対応だけでは弱いと考える。重点プロジェクトで検討してほしい。

② 施策大綱の「１．生活基盤の整備」、「２．生活環境の整備」について

・事務局より、総合計画（案）と総合計画・概要版（案）の中の施策大綱「１．生活基盤の整備」、「２．生活環境の整備」について説明をした。

（会長）

・ご意見をいただきたい。

（委員）
・「都市計画の推進」では、以前から都市計画区域を拡大する等の案があったが、現在も継続されているのか教えて欲しい。
・この計画は充実してよい内容である。予算の裏づけが重要である。
・地域高規格道路が阿南まで延びれば、美波町が抱えている多くの課題が無くなると考える。一日も早く完成させて欲しい。
・大浜海岸の防潮堤は、早急に補修が必要ではないかと考える。
（事務局）
・現在も都市計画区域を拡大する等の考えは残っています。
（委員）
・防潮堤の施工については優先順位を考えて頂きたい。

③「３．産業の振興」、「４．教育・文化の振興」について
・事務局より、総合計画（案）と総合計画・概要版（案）の中の施策大綱「３．産業の振興」、「４．教育・文化の振興」について説明をした。
（会長）
・ご意見をいただきたい。
（委員）
・「３－１（３）水産の振興」については、的を得た内容となっている。漁業者、特に婦人層の知恵やＩＴを活用して、付加価値を高めていけば良いと思う。そのような環境整備を行い、地域の活性化を図ることを検討してほしい。
・風力発電施設の誘致は価値あることと思う。
（町長）
・かつて県で検討がされたことがあるが、風力発電は平均風力が３～２０ｍ/秒でないと上手くいかない。美波町は適さないとのことであるが、風力発電機の技術革新による設置が可能か、実施計画において検討する。
（委員）
・「３－１（３）漁業の振興」については拠点整備が必要であるが、町単位でなく、海部郡内等の広域的に考えた拠点整備が必要である。
（会長）
・私も同様に考えるため、実施計画で検討してほしい。
（委員）
・「３－３（２）観光」について、体験型観光と言われるが、「磯に降りたら行けない。」と関係者に言われたことがある。すぐにでも改善できることは改善して欲しい。
（委員）
・「３－２（１）商業の振興」については、商業者と行政との定期的に協議できる場の確保

をして欲しい。行政からのアドバイス等もいただきたい。また、第１次産業も含めたコミュニケーションも確保して欲しい。

・総合計画が、絵に描いた餅にならないように、財政基盤をしっかりする必要がある。

（町長）

・第１次産業と商工業との複合産業をめざしたいと考えている。

（委員）

・ウミガメが人家の近くに上陸するのは世界中でここだけだそうだ。もっとＰＲすべきだ。

・田井ノ浜の砂浜が随分と狭くなってきているが、防潮堤の影響なのか。

（委員）

・防潮堤ができて砂浜が狭くなった。昔は石積みで波が反射しなかったが、防潮堤はコンクリートで波が反射し、砂を沖へ持っていくからではないかと考える。

（町長）

・人の命を守ることと自然を大切にすることは、大変難しい問題だが、環境影響調査が重要になる。

④　「５．保健・医療・福祉の充実」、「６．地域自治・行財政運営」について

・事務局より、総合計画（案）と総合計画・概要版（案）の中の施策大綱「５．保健・医療・福祉の充実」、「６．地域自治・行財政運営」について説明をした。

（会長）

・ご意見をいただきたい。

（委員）

・「６－１（４）男女共同参画社会の実現」のうち、２～４の施策は福祉関係の施策であり、「５．保健・医療・福祉の充実」で記述した方がよいと考える。

（会長）

・「協働」とは、住民と行政ばかりではなく、住民、企業、学識・行政の産官学が連携することを示す。

⑤　総　括

（会長）

・今までの議論を踏まえた総括的なご意見、今までの議論の追加意見をいただきたい。

（委員）

・日和佐の下水道の件ですが、計画通り推進できるか。

（町長）

・財政上の問題から完成時期は４年ほど遅れる見込みであるが、計画どおり進める。

・合併浄化槽の補助については、新築の場合はなくなる方向である。旧来の家で合併浄化槽を設置する場合には補助が継続されることとなる。

（委員）
・下水道等の普及のおかげで、日和佐川はすごく綺麗になった。
（町長）
・徳島県の下水道普及率は全国で最低である。下水道の普及は重要である。
（委員）
・この計画について実施してはいけない内容は書いていない。しかし、５年間で実施するには優先順位をつけ、必要な施策から優先的に実施する必要がある。
（委員）
・「計画」はすばらしいものができたと思う。実施にあたっては、各課に責任を十分認識してもらいたい。
（委員）
・すばらしい計画だ。「スポーツクラブ」の立ち上げに努力する。
（会長）
・定住施策には一工夫がいると思う。
　＊特に「Ｉ　ターン」については、希望者と受け入れ側の心配を無くするためにも「お試し」の制度の充実を検討してはどうかと考える。
　＊「定住」と「雇用」は連動している認識が必要である。
　＊計画のどこかに「お金の落ちる戦略的な施策」を盛り込む必要がある。例えば、四国の東海岸には産直施設がない。買って、食べて、遊ぶ施設の設置等を検討してはどうかと考える。
（委員）
・日和佐道路はいつ頃できるのか。
（町長）
・あと３年半ぐらいかかると言われている。
（委員）
・阿南まで地域高規格道路ができれば阿南、徳島が通勤圏になる。人口が増える可能性がある。
（委員）
・体験型観光については区域を定め、すぐできることからやれば良い。
・日和佐の避難タワーは普段から登ることが自由にできれば良いと思う。
（消防防災課長）
・開放すると、近所が覗かれる等のプライバシーの問題があります。
（会長）
・事務局は今日の貴重な意見をもとに、再度総合計画（案）を見直してほしい。

８．閉　会（事務局）

・次回（第３回）の美波町総合計画審議会は２月上旬を予定しています。改めて、ご案内します。
・本日はありがとうございました。

以上。